



市の木：ケヤキ ニレ科
落葉高木。武藏野の風景
を思わせる代表的な木。
昭和53年11月3日制定



市の花：キク キク科多年草。美しさと香りで古くから親しまれている。
昭和53年11月3日制定



市の鳥：シラコバト ハト科キジバト属。越谷周辺に生息する珍しい鳥。
昭和63年11月3日制定

発行／越谷市 〒343 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 ☎0489(64)2111 FAX 0489(65)6433 編集／企画部広報広聴課



第28回 越谷市民文化祭

期日 11月21日(木)～24日(日)
会場 サンシティ越谷市民ホール

演出部門 日舞、着付舞、詩吟、フラダンス、ハイアンパンド、一般体操、カラオケ、民謡、洋舞踊、かっぽれ、和太鼓、社交ダンス、演劇、室内楽、謡曲、交響楽、吹奏楽、合唱・独唱、大正琴、邦楽、オカリナ、軽音楽、笛

展示部門 写真、絵画、彫刻、書道、華道、俳句、郷土研究、工芸、短歌、盆栽、手作り絵本、茶道

*詳しくは広報こしがや11月1日号をご覧ください
問合せ 社会教育課文化振興係

～市民の皆さんと市長の対話～

市政懇談会を開催します

市民の皆さんと市長が“越谷のまちづくり”について語り合う市政懇談会をジャンル（分野）別、地区別に開催しています。

ジャンル別懇談会（商工業）
日時 11月21日(木)、午後4時～6時
会場 レストラン プラザ（南越谷二丁目）

ジャンル別懇談会（文化）
日時 11月27日(水)、午後7時～9時
会場 中央市民会館5階第2・3会議室

蒲生地区
日時 11月25日(月)、午後7時～9時
会場 蒲生公民館（☎88-0960）

桜井地区
日時 12月12日(木)、午後7時～9時
会場 桜井公民館（☎76-0992）

*地区別市政懇談会の出席者は、地元の連合自治会、コミュニティ推進協議会などの関係者の皆さんを中心となっています。会場の都合により、個人で参加を希望する方は各公民館または下記へお問い合わせください
問合せ 自治振興課、広報広聴課広聴係

△就労している家族全員の平成8年分の所得税額が確認

①～⑤の場合であっても同居している親族や他の方が保育できるとき

乳児で入所（園）時に生後3ヶ月を経過していないとき

一定貯金に余裕がないとき

△申込みに必要なもの

△申請のときにお子さんの面接がありますので、必ずお子さんをお連れください（※添付書類が不備な場合は受け付けできません。入所説明書をよく読んで、添付漏れや記入漏れのないようにご注意ください）

△母子健診手帳

△添付書類が不備な場合は受け付けできません。入所説明書をよく読んで、添付漏れや記入漏れのないようにご注意ください

△の乳幼児を保育する家庭保育室が市内各所にあります。入室審査は保育所の入所要件に

平成9・10年度 市立病院 指名参加の受け付け

平成9・10年度に越谷市立の乳幼児を保育する家庭保育室が市内各所にあります。入室審査は保育所の入所要件に

△参加の申請をお願いします。
△提出要領、申請書などの配布△11月18日(月)から市立病院庶務課で受け付け△1月5日(日)を除く、午後1時30分～4時。市立病院庶務課へ。郵送不可△受け付け△1月2日(月)～9月1日、祝日および12月28日(土)△受け付け△1月14日(火)～12月28日(日)△受け付け△1月5日(日)を除く、午後1時30分～4時。市立病院庶務課へ。郵送不可△受け付け△1月2日(月)～9月1日、祝日および12月28日(日)△受け付け△1月5日(日)を除く、午後1時30分～4時。市立病院庶務課へ。郵送不可△受け付け△1月2日(月)～9月1日、祝日および12月28日(日)△受け付け△1月5日(日)を除く、午後1時30分～4時。市立病院庶務課へ。郵送不可△受け付け△1月2日(月)～9月1日、祝日および12月28日(日)

*市役所は、一部の施設を除きすべての土曜日が休みです

*10月の交通事故 544件 死者0 負傷者179人 *10月の火災 8件 救急出動回数 597件

保育所(園)名	所在地	対象
蒲生	蒲生寿町9の23	0～5歳
大袋	恩間151	0～5歳
大相模	大成町1の2158	3～5歳
桜井	平方1349	2～5歳
増林	東越谷8の180	0～5歳
大沢第一	大沢3の16の45	0～5歳
中央	越ヶ谷3の2の28	0～5歳
深田	下間久里318の1	2～5歳
七左	七左町1の184	2～5歳
荻島	南荻島737	0～5歳
赤山	赤山町4の2の11	0～5歳
蒲生南	南町1の10の20	0～5歳
新方	北川崎729の1	0～5歳
大袋北	袋山475の3	0～5歳
宮本	宮本町5の250の1	0～5歳
登戸	登戸町42の10	0～5歳
赤山第二	赤山町2の58の1	0～5歳
蒲生第三	蒲生2の13の9	0～5歳
越ヶ谷保育園	越ヶ谷本町3の7	1～5歳
あおい保育園	越ヶ谷2549	2～5歳
おおたけ保育園	大竹692の2	0～5歳
の～びる保育園	相模町2の64の1	0～5歳
しらとり保育園	弥十郎275の1	0～5歳
袋山保育園	袋山1956の1	0～5歳

保育所(園)に入所(園)を希望する乳幼児の申込みを次のこと



平成9年4月から、市内の保育所(園)に入所(園)できる乳幼児は次のとおり受け付けます。
月25日(月)から児童福祉課および各保育所(園)でお配りします。

△4月から就労を予定している方も申請できます。

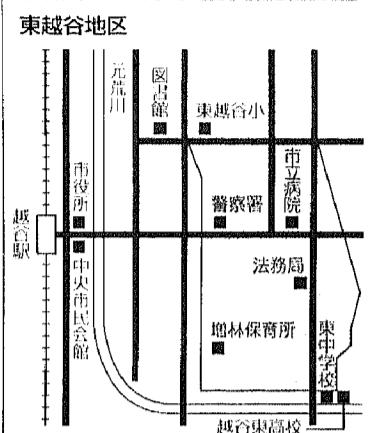
△4月から就労を予定している方も申請できます。

△妊娠中であるか、または出産後間がない

△妊娠中であるか、または

東越谷地区 保留地を公売します

受け付けは11月29日~12月5日



東越谷にある21区画の保留地を公売します。東越谷地区は、越谷駅から北東へ1.5kmに位置し、市立病院や警察署、法務局などがあり、周辺は良好な住宅地が広がっています。

埼玉県東部清掃組合第一工場 越谷市増林3-2-1		
市役所	新方川	総合体育館市民球場
越谷駅	元荒川	市立病院
東越谷地区	新方川	総合体育館市民球場
市役所	元荒川	市立病院
東越谷小学校	新方川	総合体育館市民球場
薬剤室	新方川	市立病院
法務局	新方川	総合体育館市民球場
越谷保健所	新方川	市立病院
東越谷中学校	新方川	総合体育館市民球場

リユースまつりバス時刻表
(新越谷駅東口↔会場)

新越谷駅発	会場発
10:00	10:30
11:00	11:30
12:00	12:30
13:00	13:30
14:00	14:30

・電気自動車試乗会

・歩く風船 無料配布 (2)

・市立病院

・新方川

・元荒川

・市役所

・越谷駅

・新方川

・元荒川

</

広報

1996
平成8年

11.15 No.1000

こしがや



彩の国さいたま

1000号記念特集号

発行／越谷市 〒343埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 ☎0489(64)2111 FAX 0489(65)6433 編集／企画部広報広聴課

越谷市民憲章

わたくしたちは、越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため、限りない願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

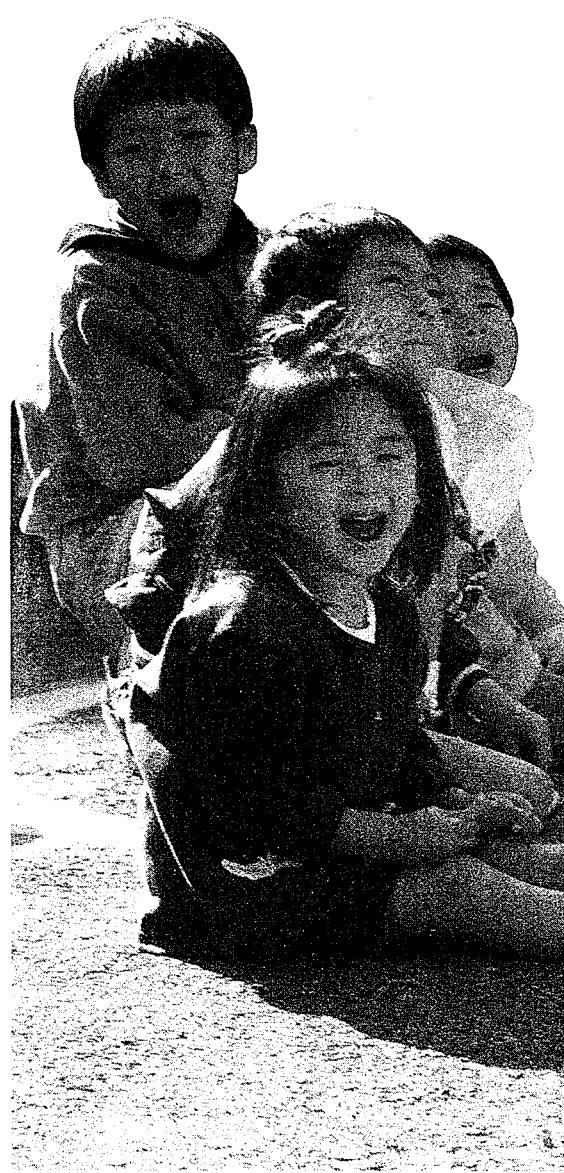
1. 教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくります。
2. きまりを守り、信じ合い、心豊かな明るいまちをつくります。
3. 自然を愛し、お互いに助け合い、きれいなまちをつくります。
4. 健康で楽しく働き、明るいスポーツのまちをつくります。

昭和29年に2町8カ村が合併し、
人口4万4595の越谷町が誕生しました。その後、順調に発展してきましたわがまちの人口も29万9706（今年11月1日現在）となり、まもなく人口30万都市の仲間入りをしようとしています。

また、町村合併とともに創刊した広報紙も今号で1000号となりました。

今号では、人口の伸びとともに発展してきたわがまちの軌跡と21世紀に向けたまちづくりを特集します。

たくさん笑顔に
出会えるまち



1

30万物語
The Story of One-Thousand-thousand

人口30万都市への鼓動
それは1人ひとりが織り成すドラマです。

写真は10月27日に開催された第22回越谷市民まつりから

越谷市は今「30歳」。人口もまもなく30万になります

広報こしがや
1000号に寄せて

鳥井憲市長

越谷市長

鳥井憲市長

昭和29年の越谷町誕生
とともに、「越谷町広報」として創刊した「広報」が42年を経て1000号を発行すること

ができます。これも市民の皆さんとの温かい励ましと広報配布など、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

多くの方々のご努力に

人口30万都市に成長して

きたわがまちは、今、本

市街地から市へ、そして

より町から市へ、そして

人口30万都市に成長して

きたわがまちは、今、本

市街地から市へ、そして

より町から市へ、そして

人口30万都市に成長して

きたわがまちは、今、本

市街地から市へ、そして

人口30万都市に成長して

きたわがまちは、今、本



守り続けてほしいですね

(25歳・袋山)

として11月5日に創刊しました。もちろん記事内容は越谷町誕生です。

人口が急増しました。

広報こしがや

として創刊された「広報」し

がや」も今で1000号に

なりました。

今号は、人口が10万、20万

などになった時点や「広報」し

がや」も100号、500号など

が発行された当時の市政や街

の様子を紹介し、「越谷市の

軌跡」(2・3面)と鉄道高架

事業やレイクタウン整備事業

などを21世紀に向けたまちづくり

事業を紹介し、「未来の越谷

の姿」(4面)を特集します。

また、越谷町誕生にあわせ

て人口が急増。それに対応す

るために様々な事業を推進して

きたわがまちも、都市基盤の

整備が進み県南東部の中

核都市の役割を担い、災

害に強い安室で便利で快

適なまちづくりに力を

傾注するとともに、市民

の皆さんに親しまれる広

報紙づくりに努めてまい

ります。

昭和29年11月3日、2町8

力村(越ヶ谷、大沢の2町、

桜井、新力、増林、大袋、荻

島、出羽、蒲生、大相模の8

町が越谷市に編入

しました。

その後は、都心から

25キロメートルの通勤圏内に

しました。その後は、都心から

がりました。

昭和33年には市制施行し

ました。その後は、都心から

がりました。

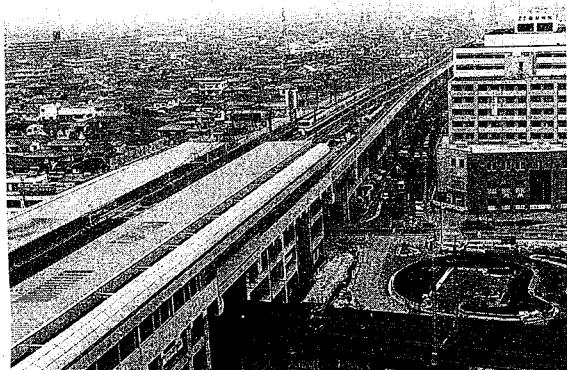
安全で、便利で、快適な 未来の越谷市



▲内陸型ウォーターフロント都市を創出。

レイクタウン整備事業

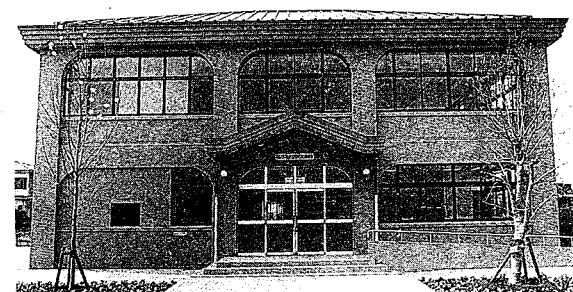
レイクタウン整備事業（写真上、イメージ模型）は、治水対策と都市づくりを同時に進むもので、市東南部の大相模地区・川柳地区の約235ヘクタールの地域に、元荒川・中川の治水機能を持つ調節池（人造湖）を設け、湖を核とした全国初の内陸型の水辺都市を創出するものです。住宅・都市整備公団の施行予定で、今年5月に都市計画決定されました。



▲鉄道の高架複々線化の完成により

東西に分断されていた市域が一つに

平成元年から工事が開始された東武伊勢崎線高架複々線化事業は、平成6年に綾瀬川・元荒川間の約4.2キロメートルが上下とも高架になり、現在は、元荒川から北越谷駅先までの約2.4キロメートルの高架化と、北越谷駅までの複々線化工事が平成9年度完成を目指し進められています。高架複々線化にともない、駅周辺の整備や市内東西を結ぶ道路網の整備も同時に進められています。



▲地域のコミュニティ拠点 公民館、交流館。
人口1万に1館の割合で整備

大沢北交流館が今年5月にオープンしました。赤山交流館に続き市内2館目です。交流館は、地域のコミュニティの場として、また生涯学習や仲間づくりの場、高齢社会を支えるボランティア活動、さらに防災救援機能を兼ね備えた施設として活用していく予定です。市民の皆さんにより自主運営されるもので、公民館と集会所の中間的な施設に位置付けられます。将来的には既存の公民館も含め、おおむね人口1万に1館程度の割合で市民活動の拠点が整備される予定です。

平成28年(2016年)のある朝。

『わたし(越谷市民、20歳)の目でみた風景です

今日は学校の試験があるため、いつもより少し早く起きる。半分ほど開いた窓から心地よい風が入ってくる。揺れるカーテンに木漏れ日が差し込んでいる。

朝食をとり、出勤する父と二人で家を出る。整然とした区画の住宅街。垣根や花壇など、それぞれの家が工夫し、街に潤いを与えていく。街並みを抜けバス通りへ出る。

駅への道路も整備され、随分渋滞も解消された。駅前広場では、朝から活気のあるファーストフード店が客を呼んでいる。夕方には買い物客で賑わう商店街やショッピングセンターは、まだ静かである。

駅の改札を抜けエスカレーターでホームに上がる。程なく、やってきた電車に乗る。車窓から見る富士山が美しい。都内の会社に通勤する父と別れ、新越谷駅でJR武蔵野線に乗り換え学校に向かう。

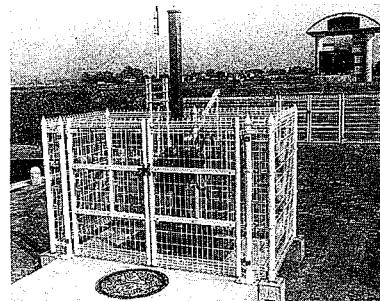
電車が走り出し、ふたたび窓の外に目をやる。大きな湖が見えてくる。ヨットが浮かんでいるのを見ていて、マリンスポーツに挑戦してみようかと思う。湖の中に浮かぶ島には近代的な建物が並び、湖の周辺には緑に包まれた住宅街が広がっている。その先には、田園の中に建つごみ火力発電所が遠く見える。

そんな風景に見とれていると、今度は、高速道路が見えてきた。この前の日曜日に家族で海までドライブしたとき通った東埼玉道路だ。楽しかった1日が思い出される。この週末は、自宅近くの交流館で開かれる地域の“ふれあいの集い”に参加してみるつもりだ。

今年生まれた子どもたちが成人になるのは平成28年(2016年)。そのとき、越谷市はどのようなまちになっているのでしょうか。

そこには、今年度都市計画決定されたレイクタウン事業などの都市基盤整備をはじめ、都市防災河川事業などの災害に強いまちづくり、100パーセント再資源化するごみ処理などの環境整備事業、高齢化時代に適応した福祉事業などの各種施策が進められ、安全で、便利で、快適な21世紀のふるさと越谷の姿が浮かんできます。

そんな未来の風景を20歳を迎えた1人の市民の目で見てみましょう。



▲非常時の消火・生活用水を確保。

都市防災河川等整備構想

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ平成7年度に策定された「都市防災河川等整備構想」は、河川の水を市街地に引き込み、緊急時の消火・生活用水を確保するとともに、親水性のある憩いの場を造ろうというものです。今年6月には、その第一段として新方川の水を引き込んだ消火用の取水ピットが弥栄町三丁目に完成しました。

▼東埼玉道路、北部地域開発計画など 21世紀に向けたプロジェクトも始動

市内初の高速道路である東埼玉道路（写真下、完成予想図）や市北部の拠点となるよう位置づけた北部地域開発計画、東部清掃組合第一工場の未利用熱エネルギーを活用した農業複合施設の建設など、21世紀に向けたプロジェクトも始動しています。

